

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立笠岡高等学校		
実践者等	谷本侑也	実践日	令和3年9月29日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	コミュニケーション英語 I		
対象生徒 (学年等)	普通科1年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	Gorillas and Humans		
使用したアプリ等	GoodNotes (ノートアプリ)		
実践の概要 (ねらい等)	個人および協働的な学習での GoodNotes の活用		
実践の内容			
<p>(1) 音読練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したレッスンパートを全体練習ののち個人で音読練習 <p>(2) プリントを利用した個人学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有ドライブに保存してあるプリント (パート全体の本文について、1文につき2～3ヶ所を空所にしたもの) を GoodNotes (アプリ) に取り込ませる。 ・プリント中の空所を個人で補う。アップルペンシルを用い、色は黒色とする。 ・内容を思い出すのに時間がかかったり、つづりに自信がなかったりする場合、印 (△ など) やマーカーで色をつけさせる。(印がついた箇所は後の家庭学習で重点的に復習させる。) <p>(3) ペア学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(2) で取り組んだ空所補充に不明な点がある場合、ペアで相談し合う。 ・協力することで解答できた場合、色を変え (青色)、記入する。 <p>(4) 答え合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノートを見て解答を確認し、赤色で直していく。 <p>(5) 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が原因で解答できなかったのか分析させ、家庭での復習に取り組ませる。 <p>○GoodNotes を使うことの利点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語等を塗りつぶしたものをペアの一方の生徒に見せ、答えさせることができる。 ・分かりにくいと思った単語を塗りつぶし、本文の中で繰り返し覚え直すことができる。紙媒体で行うよりも生徒が教材を活用しやすく、複製も簡単にできる。 			
参考となる HP 等			